

JAFTA 活動報告



好評だった新城会長の講演

ISF で新城会長も講演

第 42 回 I S F が去る 4 月 12~14 日、東京・池袋サンシャインシティ文化会館で開催され、当協会も F S I の協力により参加した。

この見本市はセミナーや実演など各種催事を行っており、セミナー会場では初日に当協会の新城孝道会長が「専門医が教える足のトラブルと靴」というテーマで講演をした。会場は聴講者で満員の盛況だった。

出展ブースでは那由他グループ（事務局長・大岩久恵氏主宰）のフスフレーガー 4 名がフットケアの実演をし、連日、切れ目のない来場者で賑わった。当ブース来場者数は毎回、数を増やしており、前回の経験者が知人を連れてくることも。出展社の靴関係業界人の方々も興味を持って体験、足に関する質問を受けるなどフットケアを靴業界に PR することもできた。

3 日間の当ブース来場者は 139 名で、足のトラブ



ルで多いのは①タコ②巻爪③爪の変形だった。今後ケアを受ける場所についての質問も多く、JAFTA ホームページを紹介した。またどのような靴を履けばよいのか？の質問も多かった。

見本市全体の出展社は 101 社（内、外国企業は 29 社）、来場者は専門店や百貨店など 5009 人だった。



FSI と JAFTA のブース

盛況だった Beauty World

2011 Beauty World は 5 月 16~18 日、東京ビッグサイトで開催された。出展社は 22 カ国、639 社、来場者はエステティックサロン、ネイルサロン、理美容サロンなどから 54,680 人にのぼった。当協会も FSI のご協力に参加、施術の実演に当たった。



当ブースへの来場者は 3 日間で 149 人で連日、休む暇もないほどの盛況だった。どうしたらタコ、角質ができなくなるか、あるいは靴に関する質問などが多かった。

JAFTA 会員の方も立ち寄り、会への質問、機器のメンテナンスについての確認、日本製オートクレーブの展示にも興味を示されていた。